

Thanks Dag

11/8~9 **E**

都都等

さまざまなブースが大集合! 11/9(日)は事前申込無しで日帰り参加も大歓迎!



クラフトブース

自然の枝や葉を使ったリースづくりや折り紙クラフト、アイシングクッキーづくりなどなど魅力的なブースがもりだくさん!



体験ブース

焚火での焼きマシュマロ 体験や民族衣装を着て撮 影会、双眼鏡やスコープ 体験などなど、さまざま な体験を楽しもう!



キッチンカーなど

ネイパルにキッチンカー がやってくる!? キッチンカー目当てでの 参加も大歓迎です!!

HPはこちら



LINEはこちら



お問い合わせ

地域ESD活動推進拠点 登録施設 北海道立青少年体験活動支援施設ネイパル北見 (指定管理者 根釧野外教育センター屯田の杜野外学校)

TEL: 0152-54-2584 FAX: 0152-54-2736



「ネイパル Thanks day」 開催要項 (宿泊参加)

- I 趣 旨 利用団体や地域で活動する団体に発表の機会を提供するとともに、施設を開放し、様々な体験活動を体験してもらい、青少年教育施設に対する理解を深め利用促進につなげる。
- 2 主 催 北海道立青少年体験活動支援施設ネイパル北見
- 3 期 日 令和7年11月8日(土)~9日(日)【1泊2日】
- 4 場 所 北海道立青少年体験活動支援施設ネイパル北見
- 5 対 象 小学3年生~中学生 20名程度
- 6 申 込 宿泊での参加をご希望の方は、ネイパル北見公式 LINE よりお申し込みください。

申込締切 令和7年 10月 26日(日) 12:00まで

- ※本人以外に同時申込が可能となるのは対象学年の兄弟姉妹のみとなります。
- ※応募多数の場合は、申込締切後、抽選にて参加の可否を決めさせていただきます。
- ※兄弟姉妹の単位でお申し込みをされた場合は、兄弟姉妹の単位で抽選いたします。

(抽選結果は、公式 LINE 等にて連絡いたします。公式 LINE が届くように設定をお願いします。)

- ※締切後、参加決定者には「事前案内文」「健康調査票」などを公式 LINE にて送付いたします。
- 7 参加費 3,500円 (施設利用料・食事代・保険代・共通経費)
 - ※11/9(日)の有料ブース及び昼食の料金は参加費には含まれていません。別途、ご用意下さい。
- 8 日 程 ※活動内容は天候状況等により変更になる場合があります。

日時	7	8	9	10	П	12	13	14	I	5 16	17	18	19	20	21	22	
8 日						12:3	合 閉 0~ 会 :00 式	ともだち づくり	休憩	翌日の	の準備	スペシ		ナイト ステージ	入浴	就寝	
9 日	起床	朝食	点検	準備	体験活動 10:30~15:00 (各自自由昼食)				自由解散 (※体験活動15:00終了予定)								

「ネイパル Thanks day」 日帰り参加(施設開放事業)

- 地旨施設を開放し様々な活動を体験することで、青少年教育施設に対する理解を深め利用促進につなげる。
- 2 期 日 令和7年11月9日(日)
- 3 場 所 北海道立青少年体験活動支援施設ネイパル北見
- 4 対 象 どなたでも
- 5 申 込 不要
- **6 参加費 無料 (施設開放事業のため、施設利用料が免除となります)**
 - ※一部、有料ブースがございます。
 - ※本施設開放事業中に発生した事故やケガについて、参加者ご自身の不注意による場合は自己負担となります。ご了承の上参加ください。
 - 尚、当日はネイパルにて25円で日帰り保険に加入することも可能です。

(住所、氏名等の確認が必要になります。)

7 日程

日時	7	8	9	10	П	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
日 帰 り				受付 10:00~ 14:30	オープニング	体験活動	11:00	~15:0		a解散 《体験活動15	: 00終了予知	定)				

- その他・本事業中に撮影した写真、製作物、感想文等を事業報告書、広報チラシ、新聞報道、ホームページ、 フェイスブック等に利用する場合がありますので、ご了承ください。
 - ・参加に係る個人情報は、本事業に関する事務及び今後の事業案内にのみ使用します。

申込み・問い合わせ先



地域ESD施設活動推進拠点 登録施設 北海道立青少年体験活動支援施設ネイパル北見 (指定管理者 根釧野外教育センター屯田の杜野外学校) 〒093-0216 北見市常呂町字栄浦365番地I 証:0152-54-2584 Fax:0152-54-2736 E-mail:info.napal.kita@eagle.ocn.ne.jp







私たちは持続可能な開発目標 (SDGs)を支援しています。